



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第61号 R4. 1. 4

今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」～準備してきたことを前に進める年～

令和4(2020)年、新しい年が始まりました。クリスマス、大晦日、お正月、コロナ禍のなかではありましたが、子ども達は学校ではできない、色々な体験や経験を積んで3学期を迎えてくれることと思います。

さて、本年は、東西それぞれに令和8年4月の義務教育学校開校に向けて準備してきたことを一つひとつ具現化していきます。



①東地区の小中一貫教育校が4月開校します。

小学校校舎では、1～4年が「とよの未来科」で体験的な活動を実施し、中学校校舎では、5・6年が全国に先駆けて「教科担任制」を取り入れた授業を開始します。子ども達の状況を踏まえながら、50分授業、定期試験、部活などの導入も検討していきます。

②西地区の改修工事に向けての準備が始まります。

吉川中学校校舎外壁の塗料にアスベストが含まれていることが年末に判明し、除去して改修工事を行うこととなりました。それに伴い工事方法、期間、吉中生の学習場所について再度検討・調整を進めています。概要がまとまりましたら、説明会を開催します。

*アスベストは、塗料の中に封じ込められて固まっており飛び散る心配はありません。

③「学校運営協議会」が4月正式にスタートします。

令和2年秋より東・西地区に「学校運営協議会設立準備委員会」を立ち上げ、様々な課題について熟議や意見交換を行い、準備を進めてきました。4月から両中学校区ともに「学校運営協議会制度」を導入したコミュニティ・スクールとなります。

④西地区の保育所と幼稚園の再編の方針を決定します。

昨年6月より「子ども・子育て審議会」において、西地区の保育所・幼稚園の在り方について先進地視察も行い検討しております。1月中旬に提言を受け、「総合教育会議」で町としての方針が決まります。

①～④の進捗状況や決定事項は、この「豊能の風」でお伝えしていきます。

今年もどうかよろしく願いいたします。

～すべては子ども達のために！～

「東能勢小中学校」開校まで3か月です。

東地区では、小学校と中学校の先生方が少しでもお互いの思いを共有できるよう、各校の首席の先生が中心となり企画・運営された研修会が、12月27日に開催されました。

小中一貫教育校開校に向け、「第1部 めざす子どもの姿」「第2部 小中の違いを知る」をテーマに、先生方の活発な意見交流が行われました。



グループ交流の様子

キラッと輝く取組み発見☆ ～吉川中学校『サンクス☆ツリー』～

寒い日が続く今日この頃ですが、吉川中学校を訪問した際、心が温くなる取組みを発見しました。それは、クリスマスツリーならぬ、「サンクス☆ツリー」です。

ツリーに飾られている紙には、「いつもクラスをまとめてくれて、ありがとう。」「いつも遊んでくれて、ありがとう。」「いつも親切にいろいろなことを教えてくれて、ありがとう」など、たくさんの「ありがとう」に溢れていました。何気ない日常での「ありがとう」という気持ちに触れて元気をもらいました。

企画した生徒会にインタビューをしました。

(取材日：12月15日)

①なぜ、この取組みを考えたのですか。

アンケートから吉川中学校の生徒の自尊心が低いことがわかったため、みんなの自尊心を高めようと、クリスマスイベントと併せて考えました。

②やってみてどうでしたか。

みんなが楽しそうに書いてくれて、自分たちも幸せな気持ちになりました。

③今後、どんな取り組みをしたいですか。

継続して自尊心を高められる活動に取り組みたいです。また、地域の方とふれあえるような活動も企画したいです。

④吉川中学校をどんな学校にしていきたいですか。

- ・あまり学校に来られていない人も来やすい学校にしたいです。
- ・あいさつの輪を広げて、明るい学校にしたいです。
- ・個性を認め、磨ける学校にしたいです。
- ・豊能町の子どもが少ないので、町外の人にも「転居して通いたい」と思ってもらえる学校にしたいです。



インタビューに答えてくれた皆さんの表情や目の輝きから、自分たちでよりよい学校をつくっていくんだという気持ちがひしひしと伝わってきました。

吉川中学校生徒会のこれからの活動が、とても楽しみです。